

平成20年度

地盤沈下調査結果

平成21年8月



はじめに

この報告書は、愛知県、国土交通省、名古屋市及び名古屋港管理組合が平成 20 年度に実施した水準測量、地下水位観測等の調査結果をもとに、愛知県内の地盤沈下の状況についてとりまとめたものです。

水準測量については、尾張・名古屋市地域及び知多地域において実施しました。

尾張・名古屋市地域では、1 年間（平成 19 年 11 月 1 日～平成 20 年 11 月 1 日）で 1 cm 以上の沈下を示した水準点はなく、沈下域は生じませんでした。

知多地域では、前回の調査を平成 17 年度に行ってから 3 年間（平成 17 年 11 月 1 日～平成 20 年 11 月 1 日）で、1 年当たり 1 cm 以上沈下した水準点はなく、沈下域は生じませんでした。

県内の地盤沈下は、全般的に見て、地下水揚水量の減少に伴う地下水位の上昇により概ね沈静化の傾向にあります。

渇水時には、雨水等の地下への涵養量が減少するとともに揚水量が増加し、地下水位が急激に低下することにより、広範囲な地盤沈下が生じる可能性が依然としてあります。地盤沈下が発生すると、水害等の潜在的な危険度が高まることから、引き続き地盤沈下・地下水位の監視、地下水の揚水規制等を実施し、地盤沈下の防止に努めていきます。

平成 21 年 8 月

愛知県環境部

目 次

1	水準測量による地盤沈下の状況	1
(1)	地盤沈下の概要	1
(2)	地域別の地盤沈下の状況	2
ア	尾張・名古屋市地域	2
イ	西三河地域	7
ウ	東三河地域	10
エ	渥美地域	10
オ	知多地域	11
2	地下水位の状況	12
(1)	尾張地域	12
(2)	西三河地域	19
(3)	東三河地域	24
(4)	渥美地域	24
(5)	知多地域	24
3	地下水揚水量の状況	25
4	降水量の状況	27
5	調査結果のまとめ	28
6	地盤沈下対策	29
7	資 料	32